

# 地域社会への責任



## マネジメント・アプローチ

|                        |    |
|------------------------|----|
| <b>方針とマネジメント</b> ..... | 94 |
| 基本的な考え方 .....          | 94 |
| 社会貢献活動の推進体制 .....      | 94 |
| 社会貢献活動の全体像 .....       | 94 |

## 課題への取り組み

|                       |    |
|-----------------------|----|
| <b>教育に関する活動</b> ..... | 96 |
| 社会見学の機会の提供 .....      | 96 |
| 就業体験の機会の提供 .....      | 96 |
| 教育現場への製品提供 .....      | 96 |
| 国内社有林の活用 .....        | 97 |
| スポーツを通じた教育機会の提供 ..... | 97 |

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| <b>環境に関する活動</b> .....           | 98 |
| 生物多様性の保全 .....                  | 98 |
| リサイクル活動の推進 .....                | 98 |
| <b>地域・社会との共生などに関連する活動</b> ..... | 99 |
| 地域美化活動 .....                    | 99 |
| 地域文化の保全 .....                   | 99 |
| 地域との共生 .....                    | 99 |
| 藤原科学財団への支援 .....                | 99 |

# 方針とマネジメント

良き企業市民として、地域の方々に信頼され、親しまれる企業であるために、各地でさまざまな社会貢献活動を続けています

## 基本的な考え方

理念と基本方針を定めてグループ全体で社会貢献活動に取り組むとともに、各社・各事業所でさまざまな活動を推進しています

日本製紙グループは、再生可能な資源である「木」を利用して、紙をはじめとするさまざまな製品を供給することで、持続可能な社会の実現に貢献しています。また、グループCSR経営に力を入れるなかで、企業市民としての社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。

全国各地でのさまざまな取り組みは、工場周辺の清掃活動やお祭りへの参加、工場見学の受け入れなど地域に根ざした各種の活動はもとより、紙のリサイクルを知ることであらためて環境について考えてもらう授業や、社有林を活用した「森と紙のなかよし学校」の実施など、グループの専門性や事業資源を活かした活動にも及びます。

これからも、一つひとつの活動をいっそう充実させていきながら、グループ全体で社会貢献活動をさらに推進し、社会の発展を支えていきます。

## 社会貢献活動の理念と基本方針(2004年4月1日制定)

### 理念

私たちは社会の一員として、誇りを持って社会全体の発展に貢献する活動を行います。

### 基本方針

1. 文化の継承・発展に寄与する活動を行います
2. 地球環境の保護・改善に貢献する活動を行います
3. 地域社会の発展に役立つ活動を行います

## 社会貢献活動の推進体制

CSR本部を中心として、グループ各社に社会貢献担当者を置き継続した活動に取り組んでいます

日本製紙グループでは、2008年6月に設置したCSR本部が中心となって、グループ全体の社会貢献活動を推進しています。

グループ各社においては、社会貢献担当者をそれぞれ選任しています。各担当者は、従来の地域貢献活動を継続するとともに、それらの充実に努めています。近年では、特に、地域社会の発展に貢献していくことを目指して、学校関係の工場見学受け入れのほか、清掃活動やさまざまな地域行事への参加・協力支援などの推進に力を入れています。

## 具体的な活動テーマ

- グループの専門性や事業資源を活かした活動の推進
- グループ各社の工場および海外現地法人における地域活動の充実
- 従業員が主体となって取り組む社会貢献活動の推進
- 日本国内の社有林(約9万ヘクタール)の有効活用
- 社内外への積極的な広報活動

## 社会貢献活動の全体像

基本方針をふまえて多彩な活動を展開しています

日本製紙グループでは「社会貢献活動の理念と基本方針」に沿って、多彩な取り組みを推進しています。その内容は、教育に関するもの、環境に関するもの、地域・社会との共生などに関するものなど、多岐にわたります。その主なものを右表にまとめました。なお、日本製紙グループの主な社会貢献活動についてはウェブサイトでもご覧いただけます。



社会貢献活動

<http://www.nipponpapergroup.com/csr/social.html>

日本製紙グループの主要な社会貢献活動一覧※

| 分野                           | 主な取り組み               | 具体例                     | 記載ページ |
|------------------------------|----------------------|-------------------------|-------|
| 教育に関する活動                     | 社会見学の機会の提供           | 工場見学の受け入れ               | 96    |
|                              | 就業体験の機会の提供           | インターンシップの受け入れ           | 96    |
|                              | 従業員による授業の提供          | 出前授業、学校授業への協力           | —     |
|                              | 国内社有林の活用             | 「森と紙のなかよし学校」の開催         | 97    |
|                              | 音楽を通じた教育機会の提供        | 札幌ポップスコンサートへの児童・生徒ご招待   | —     |
|                              | スポーツを通じた教育機会の提供      | 野球教室、野球大会の開催            | 97    |
|                              |                      | アイスホッケー教室、アイスホッケー大会の開催  | —     |
| 一輪車の寄贈、一輪車指導者の研修会の開催         |                      | 97                      |       |
| 教育現場への製品提供                   | 教育機関への紙の提供           | —                       |       |
|                              | 教育機関への印刷物の提供         | 96                      |       |
| 環境に関する活動                     | 生物多様性の保全             | 独自技術「容器内挿し木技術」の活用       | 46    |
|                              |                      | 「森の町内会」活動の推進            | 98    |
|                              |                      | シマフクロウの保護区を設置           | 47    |
|                              |                      | 「シラネアオイを守る会」の活動を支援      | 98    |
|                              | リサイクル活動の推進           | 「リサイクルプラザ紙遊館」の運営        | 98    |
|                              |                      | わりばし回収リサイクル事業の実施        | —     |
|                              |                      | リサイクル推進団体の支援            | 52    |
|                              |                      | 古紙回収施設の設置               | —     |
|                              |                      | 牛乳パック回収リサイクル            | 52、98 |
|                              | 地域に緑を増やす活動           | 植樹活動の実施・参加              | 46    |
| 環境教育に関する機会の提供                | 地球環境フォーラム(公開セミナー)の開催 | 44                      |       |
|                              | 各種環境イベントへの参加         | —                       |       |
| 地域との共生に関連する活動                | 地域美化活動               | 事業所周辺の清掃活動              | 99    |
|                              | 地域の安全・防災             | 子どもの安全を守る取り組み           | —     |
|                              |                      | 交通安全への取り組み              | —     |
|                              |                      | 災害時の支援協定の締結             | —     |
|                              | 地域文化の保全              | 文化的価値のある桜を守る運動          | —     |
|                              |                      | 飛鳥山薪能の運営支援・協賛           | 99    |
|                              | 地域との共生               | 社有林の適正な管理による森林の多面的機能の維持 | —     |
|                              |                      | 地域活性化のための取り組み           | 99    |
|                              |                      | 所有する厚生施設(体育館など)の一般への開放  | —     |
|                              |                      | 所有する土地の無償貸与             | 6     |
| スポーツ大会への協賛(那覇マラソン、福知山マラソンなど) |                      | —                       |       |
| 夏祭り・雪中運動会などイベントの開催           | —                    |                         |       |
| 社会との共生などに関連する活動              | 福祉活動                 | 社会福祉団体のイベントへの参加・協賛      | —     |
|                              |                      | 社会福祉団体の製品(パンなど)を購入      | —     |
|                              |                      | 使用済み切手、使用済みカードなどの寄付、献血  | —     |
|                              | 障がい者スポーツの支援          | アイススレッジホッケーの支援          | —     |
|                              | 従業員へボランティアの機会の提供     | 東日本大震災の被災地へのボランティアバスの運行 | —     |
|                              | 藤原科学財団への支援           | 藤原科学財団への財政面での支援         | 99    |
| 災害時の被災者支援                    | 義援金や支援物資の提供など        | 8                       |       |

※ 海外植林地での活動はP62～65をご参照ください

# 教育に関する活動

工場見学や就業体験、スポーツ・芸術に触れる機会の提供など、  
子どもたちの学習や健全な成長に役立つさまざまな取り組みを展開しています

## 社会見学の機会の提供

紙を通じて循環型社会の大切さを  
学ぶ工場見学を受け入れています

2011年度は、10,053人の小学生、中学生、高校生が  
日本製紙グループ各社の工場を見学しました。

### 事例 親子紙体験ツアーを開催 (日本製紙(株))

2011年11月、日本製紙(株)八代工場では「開かれた工場づくりによる地域社会との共生」を目指し、また親子のふれあいの場を提供する企画として「親子紙体験ツアー」を開催しました。工場の近くにある太田郷小学校の5年生とその保護者の合計31人を招待し、紙抄き体験や工場内の見学、工場紹介の映像を鑑賞しながらのバーベキューを実施しました。



紙抄きの様子

## 就業体験の機会の提供

次代を担う若者たちに  
さまざまな就業体験の場を提供しています

### 事例 学生の就業体験 (日本紙パック(株)、日本製紙(株))

日本紙パック(株)の生産子会社である三木紙パック(株)は、2011年7月、5日間にわたって兵庫県立三木東高等学校の2年生1人をインターンシップとして受け入れました。生徒には、製版部門で印刷版の作製・検版、印刷部門でインキの調合、カートン貼り部門で機械への半製品の供給など、紙パック製造の全工程を一通り体験してもらいました。

また日本製紙(株)研究開発本部では、1991年から夏の間サマーシチュアメント制度として世界各国から学生を受け入れ、1～2カ月間程度、紙パルプについてともに研究活動を行っています。



カートン貼り部門で半製品の供給実習

### 事例 「キッズジョブ2011」に手すき体験ブースを出展 (日本製紙(株))

2011年8月、富士市とふじさんめっせ共催による「キッズジョブ2011」がふじさんめっせで開催され、日本製紙(株)富士工場が手すき体験ブースを出展しました。「キッズジョブ」は職業体験を通じ、子どもたちの職業観や勤労感形成のきっかけづくりをするイベントです。当日はあいにくの雨にも関わらず、子どもから大人まで約7,000人が来場しました。

富士工場からは20人が参加し、「ものづくり体験コーナー」に設営されたブースで、紙パックを使ったリサイクルはがきづくりをしました。参加希望者は途切れることなく、2日間で約500人の方々に手すきを体験してもらいました。子どもたちは作業を通じて紙パックが大切な資源であることを学び、またできあがったオリジナルはがきに大満足な様子で、同伴の家族からも好評をいただきました。



出展したブースの様子

## 教育現場への製品提供

地域の教育機関に紙や印刷物を無償供与し、  
学習に役立てていただいています

### 事例 地元の学校へ学生新聞を提供 (日本製紙物流(株))

日本製紙物流(株)は、2007年から本社近隣の学校に毎日学生新聞を無償で供与しています。当初王子小学校と王子桜中学校を対象としていましたが、両校が移転したため、2009年から東京都北区立東十条小学校と東京都立飛鳥高校の2校に提供しています。時事問題をまとめた冊子や英字新聞など、子どもや学生向けに企画された同新聞の発行物は、学習教材としても活用されています。



提供している新聞や冊子

## 国内社有林の活用

国内社有林を活用しながら  
森の恩恵について伝えていきます

**事例** 毎年「森と紙のなかよし学校」を継続開催  
(日本製紙(株)、日本製紙総合開発(株))

「森と紙のなかよし学校」は、日本製紙(株)の国内社有林(約9万ヘクタール)を活用した、日本製紙グループ独自の自然環境教室です。社有林の豊かな自然に触れ、生活になくはならない「紙」と「森」とのつながりを体験してもらう機会の提供を目的として、2006年10月に首都圏の代表的な社有林である群馬県の菅沼社有林(丸沼高原)でスタートしました。

「森と紙のなかよし学校」は、プログラム全体を従業員の知識と経験を活かして企画・運営しています。グループ従業員のガイドによる森林ハイキングや、森で拾ってきた小枝を材料にした紙づくりなど、参加者が楽しめるように趣向を凝らしています。参加者は一般から公募しており、募集や当日の引率などで(社)日本フィランソロピー協会の協力をいただいています。菅沼社有林では2011年春の開催こそ東日本大震災の影響で中止しましたが、スタートから毎年継続して開催してきており、2012年10月までの計13回で、一般親子、地元の高校生など計442人が参加しました。

また、2007年からは日本製紙(株)八代工場を中心に熊本県の豊野社有林で「豊野・森と紙のなかよし学校」を開始し、地域に根ざした活動としてこちらも毎年実施しています。こちらではプログラムのひとつに工場見学を織り込むなど、プログラム構成を開催地区ごとに工夫しています。



全員で記念撮影



家族で紙抄き体験

## スポーツを通じた教育機会の提供

スポーツ教室・大会の開催などを通じて、  
社会の活性化に貢献していきます

**事例** 福島県と宮城県の高校生に野球指導を実施  
(日本製紙(株))

2011年10月、福島県高野連主催による技術指導講習会が2日間開催され、日本製紙(株)石巻工場硬式野球部の選手が講師として参加しました。同講習会には福島県内の高校生と指導者合わせて約380人が集まりました。

開校式の後、ウォーミングアップ、ポジション別の練習など実践的な練習を行いました。高校生は当野球部の選手から積極的に指導を受け、シートバッティングでは当野球部の投手と実際に対戦しました。実戦練習と並行して当野球部の西川トレーナーによる指導者講習会も開かれました。

また11月には宮城県高野連東部支部主催による技術講習会にも講師として参加し、石巻管内の高校生と指導者合わせて約190人が出席しました。

**事例** 香川県・愛媛県の小学校へ一輪車を寄贈  
(四国コカ・コーラボトリング(株))

四国コカ・コーラボトリング(株)は、1996年から実施している四国の小学校への一輪車を寄贈しています。2011年度は9月に香川県および愛媛県の教育委員会から推薦された小学校8校に、合計50台を寄贈しました。

一輪車は、主に神経系統の発達に有効な乗り物で、児童が自主的に興味を持つことのできる教材として高い評価を得ており、文部科学省の学習指導要領にも取り入れられています。

同社では、次世代を担う子どもたちがこの優れた教材を用いて健全に成長することを願い、これまでに合計750台を寄贈しています。



寄贈した一輪車で一輪車教室

# 環境に関する活動

生態系の保護・育成や資源リサイクル、緑化など、  
地域や事業所の特性をふまえた環境保全活動に力を入れています

## 生物多様性の保全

グループの経営資源を活用しながら  
希少種の保護・育成などに取り組んでいます

**事例** 「シラネアオイを守る会」の活動を支援  
(日本製紙(株)、日本製紙総合開発(株))

「シラネアオイを守る会」は、群馬県のレッドデータブックの準絶滅危惧種に指定されるシラネアオイを保護するために、群馬県立尾瀬高等学校と群馬県利根郡片品村が中心となって、2000年12月に発足しました。

日本製紙グループでは、設立当初から、地元で丸沼高原リゾートを運営する日本製紙総合開発(株)が同会を運営面で支援し、シラネアオイの群生の復元のために日本製紙(株)の菅沼社有林の一部を開放しています。2002年からはグループ従業員にボランティアを公募し、植栽などの作業活動に参加しています。



尾瀬高生と一緒に植樹

**事例** 地域と連携して「森の町内会」に参画  
(日本製紙(株))

森林は、貴重な再生可能な資源であり、国土の保全、水源の涵養、地球温暖化防止など多様な機能を持っています。間伐は、この多様な機能の発揮のため、成長の過程で過密となった木々の一部を伐採して、樹木成長や下層植生の繁茂を促す作業です。しかし、現在は林業の低い採算性のため間伐が十分に実施されていません。

「森の町内会」は、本来必要な間伐を促進するために環境NPOオフィス町内会が始めた活動で、間伐促進に賛同する企業に間伐費用の一部を付加した「間伐に寄与する紙」を購入してもらうことにより、間伐費用の不足分を補うものです。日本製紙グループは、間伐材を有効利用できる企業として、2012年9月現在、神奈川県、関西地区、北海道の森の町内会に参画しています。

## リサイクル活動の推進

リサイクルとその啓発活動を続けています

**事例** 「リサイクルプラザ紙遊館」入館者10万人達成  
(日本製紙(株))

2012年1月12日、日本製紙(株)北海道工場旭川事業所の運営する「リサイクルプラザ紙遊館」は、入館者が10万人を超えました。10万人目は旭川市在住の女性で、展示室で開催中の作品展を見るために来館されました。館員が手づくりした「くす玉」で歓迎し、記念品が贈られました。

紙遊館は、1999年10月20日(リサイクルの日)、紙の再利用の現状と必要性を広めることを目的に、旧診療所を再利用しオープンしました。常時、手すきができる体験型の施設として家族連れや小中高等学校・各種団体など、旭川市内だけでなく道内外および海外からも来館者を迎えています。



リサイクルプラザ紙遊館外観

**事例** 学校給食の牛乳パックでトイレトペーパーを生産  
(日本製紙クレシア(株))

日本製紙クレシア(株)では、東京工場のある埼玉県草加市において、小中学校の給食から回収された牛乳パックを再利用してトイレトペーパーを生産し、小中学校へ提供しています。

また、小学校PTAの方々を対象に、リサイクル活動への関心をいっそう深めていただくため工場にお招きし、回収されたものから製品になるまでの様子を見学していただいています。



回収した牛乳パックを前にリサイクルについて説明

# 地域・社会との共生などに関連する活動

事業所をおく各地域で、自治体や地域の方々とともに  
清潔・安全で暮らしやすい町づくりや、地域の活性化を図る取り組みを継続しています

## 地域美化活動

きれいな町の維持に取り組んでいます

**事例** 「岩国港をきれいにする運動」に参加  
(日本製紙(株)ほか)

「海の月間」に合わせて2011年7月20日に、毎年恒例の清掃活動「岩国港をきれいにする運動」が実施され、日本製紙(株)岩国工場、日本製紙ケミカル(株)岩国事業所、日本製紙物流(株)などグループ会社から84人が参加しました。

山口県岩国港湾管理事務所などが主催しているこの活動は「公共埠頭の美観を維持するため、一般利用者に対する啓蒙活動を推進」する一環として実施されており、工場周辺の港湾道路沿いの草抜き、側溝の清掃、ゴミ拾いなどを行いました。



岩国港で清掃活動

## 地域文化の保全

伝統文化に触れる機会づくりを支援しています

**事例** 飛鳥山薪能の運営の支援・協賛  
(日本製紙総合開発(株))

飛鳥山薪能は、東京都北区で生まれ育った能楽師の故木村薫哉氏が、能楽を通して地元へ恩返しをしたいと考え構想した催しです。毎年秋に、同区の飛鳥山公園内にある野外の舞台で能が演じられ、日本製紙総合開発(株)は、5年前から地元企業としてこの催しに協賛するとともに受付などにも協力して運営を支援しています。

2011年10月に開催された「第9回飛鳥山薪能」では、人間国宝の野村万作氏による狂言「苞山伏(つとやまぶし)」と、観世流の能楽師、梅若万三郎氏による能「恋重荷(こいのおもに)」が演台となりました。



野外舞台での能演舞

## 地域との共生

双方向のCSR活動を導入するなど  
地域の方々との交流を深めています

**事例** 「ハッピー四国」プロジェクトがスタート  
(四国コカ・コーラボトリング(株))

四国コカ・コーラボトリング(株)は、2012年4月に新たなCSRの取り組みである「ハッピー四国」プロジェクトについて発表しました。

同社のビジネスは「地産地消」であり、四国の皆さまと四国の環境に支えられています。同社の事業活動を通じて「四国四県をハッピーにしたい」という思いのもと、「HAPPY!! SHIKOKU (ハッピー四国)」のアイコンとともに、従来のCSR活動を進化させた双方向のCSR活動を目指して、四国をハッピーにするためのアイデアをホームページや直接対話を通じて皆さまから募り、同社の商品をお求めいただいた売上金の一部を活用して実施する地域貢献プログラムを導入します。



「ハッピー四国」プロジェクト発表

## 藤原科学財団への支援

科学技術の振興を支援しています

藤原科学財団の「藤原賞」は、日本のノーベル賞ともいわれ、科学技術の発展に卓越した貢献をした日本の科学者を顕彰する顕彰する学術賞です。創設者の藤原銀次郎翁が日本の科学技術の振興に貢献してきた精神を受け継ぎ、日本製紙(株)は財政的な支援を続けています。

2012年6月に表彰式が行われた「第五十三回藤原賞」では、京都大学大学院理学研究科教授の深谷賢治理学博士および中部大学教授分子性触媒研究センター長の山本尚博士に、賞状と金メダル、そして副賞の1,000万円がそれぞれ贈られました。



贈呈式後に記念撮影